

研究開発・製造部門に求められる 米国特許侵害・訴訟の対策と事例

明細書作成の実務と不備の改善法／米国特有のクレーム作成／代理人費用の増大対策

●日時 平成20年7月18日(水) 10:00～17:10
●聴講料 1名につき63,000円(消費税込み・昼食、資料付き)

●会場 [東京・王子] 北とびあ 7F 第1研修室
[1社2名以上同時申込の場合1名につき52,500円]

≪10:00～11:30≫

§ 1. 米国出願明細書作成の実務、注意点

三枝国際特許事務所 弁理士 立花 顕治 氏

米国出願において最も基本となるのは、明細書の作成です。ところが、米国と日本では、言語の相違に加え、明細書作成の実務が異なるため、日本と同様の感覚で明細書を作成すると、拒絶されるだけでなく、代理人費用の増大等、種々の問題が発生します。そこで、この講座では、日本の実務と対比しつつ米国特許実務に沿った明細書の作成方法、及び翻訳文の作成について説明いたします。

1. 翻訳文の元になる日本語明細書
2. 米国特有のクレームの作成
3. 米国実務及び判例からみた明細書の作成

【質疑応答】

≪12:20～13:50≫

§ 2. 米国特許係争・訴訟対策と事例

(株)東芝 知的財産部 執行役常務待遇
首席主監 嵯峨 明雄 氏

知財を巡る係争は、近年、世界各国で増加の傾向が見られる。グローバルな事業活動を展開すれば、それに伴って、リスクとしての侵害訴訟を受けたりするのも必然であろう。逆に、権利の活用の観点からは、交渉と共に、訴訟他の利用も選択肢として考える事は必要である。大型訴訟も多い米国に焦点を当てて訴訟対策と事例の一端をお話する。

1. 米国特許訴訟の概況
2. 訴訟の流れ
3. 米国訴訟に於ける発生業務 ～技術者、研究者の視点から～
4. 対策例

【質疑応答】

≪14:00～15:30≫

§ 3. リコーにおける米国知的財産戦略

リコー(株) 法務・知財本部
知的財産センター 所長 石島 尚 氏

リコーにおける知的財産活動の仕組みや取り組みを紹介する。さらに、これらの活動や米国における最近の知財判例・実務を通じて、技術者が重点的の取り組むべき知的財産活動を紹介する。代理人費用の増大等、種々の問題が発生します。そこで、この講座では、日本の実務と対比しつつ米国特許実務に沿った明細書の作成方法、及び翻訳文の作成について説明いたします。

代理人費用の増大等、種々の問題が発生します。そこで、この講座では、日本の実務と対比しつつ米国特許実務に沿った明細書の作成方法、及び翻訳文の作成について説明いたします。

1. リコーについて
2. リコーの知的財産活動
 - 1) 知的財産機能のミッション
 - 2) 知的財産体制
 - ① 知的財産組織
 - ② 知的財産機能の主な業務
 - 3) 国内外特許件数
 - 4) 知財教育制度
 - 5) 特許報償・表彰制度
3. リコーのグローバル知的財産戦略
 - 1) グローバル知的財産体制
 - 2) 米国における知的財産活動
 - ① 米国における社内外環境
 - ② 米国知的財産体制
 - ③ 米国における知的財産権の活用の実例
 4. 技術者が重点的に取り組むべき知的財産活動

【質疑応答】

≪15:40～17:10≫

§ 4. 特許ビジュアライゼーション

— エレクトロニクス・ソフトウェア発明の特許戦略 —

龍華国際特許事務所 所長 弁理士 龍華 明裕 氏

・出願件数が伸びる前に創られた発明が大きな価値を生む
・特許ビジュアライゼーションは、「暗黙知」から特許を創り出す！
・発明創出への思考方法は、標準化して繰り返し適用することができる。

- I. 技術者・研究者が組織的・継続的に価値の大きい発明を創出する
 1. 特許ビジュアライゼーションとは
 2. 価値の高い特許を取得するための考え方
 3. 出願件数が伸びる前に創られた発明が大きな価値を生む
- II. 特許ビジュアライゼーションの進め方
 1. 技術者・研究者の「暗黙知」から特許を創造する方法
 2. ビジュアライゼーションの根幹は、聞き出す能力
 3. ポイント
- III. 特許ビジュアライゼーションの成功事例と事業展開
 1. 特許ビジュアライゼーションの成功例
 2. 発明の効果的な展開方法
 3. 新規事業創出のポイント

【質疑応答】

(講師紹介 上記聴講料より15,750円割引します)

会社名	事業所 事業部	講師からの紹介割引といたしまして、1名につき15,750円割引します。2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込み下さい。申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送り致します。		
住所 〒				
TEL	FAX			
	所属部課 役職名	氏名(フリガナ)	e-mail	ご記入いただいた個人情報は、セミナーの受付・運営や、今後のご案内のために利用いたします(セミナー講師の方へもお知らせいたします)。個人情報の詳しい取り扱いにつきましては、次のURLをご参照ください。 http://www.gijutu.co.jp/doc/privacy.htm
受講者1				
受講者2				
今後ご希望しない案内方に×印をしてください (現在案内が届いている方も再度ご指示ください)				
〔 郵送(宅配便)・FAX・e-mail 〕				
〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目29番5号日幸五反田ビル8F  技術情報協会 FAX 03-5436-5080 TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD. [申込専用]				